

この夏の目標(ビーナスラインを走る!)

茂木 良一

後付けになるようですが、**この夏の目標に霧ヶ峰からビーナスラインをスクーターで走る**というのがありました。前回のツーリング、旧碓氷峠を走ったとき、体力的にみて、まだビーナスラインを走れるのではないかと思ったのです。

しかし、地図で調べると**高速道路だけで片道170キロ以上あり**非力なスクーターも体力も若干の不安。しかも、今年の暑さは異常なくらいの高温です。

散々、悩みましたが、1日延ばせば1歳を取る。今日より若い日は無いってことで、行っちゃおうと決断しました。

ルートは、圈央道鶴ヶ島→中央道諏訪→霧ヶ峰→八島湿原往復→車山→白樺湖→大門街道→八ヶ岳パノラマライン→諏訪南インター→**(中央道甲府南インター→精進湖ブルーライン→精進湖→西湖→河口湖→河口湖インター)**→中央道→圈央道鶴ヶ島 () 内は途中計画変更。

朝、6時からワンコの散歩を行い、6時40分自宅を出発。高速道路は、風の影響からくる疲労を考えて、1時間走ったら休憩すると心に決めていました。途中工事渋滞などもあり、諏訪湖に着いたのが、10時。えびす屋さんに直行。ワカサギのから揚げをお土産に買い、顔なじみの店員さんとしばし談笑して、いよいよ霧ヶ峰の強清水に向け出発。途中の上り坂は難なくクリア。強清水の駐車場で地元のライダーと景色を見ながらツーリングの話をしました。カワサキZRXをいじくりまわし、毎週のように登ってきているとのことで羨ましい限りです。色々なルートを紹介いただきましたが、全て、10年以上前ではありますが走ったコースで、「そんなに長野県のことを知っていてもらってうれしい」と言ってもらい「また、ここに来てください。時間さえあればいつでもここを走っていますから」と言っていただきました。



霧ヶ峰・車山の景色は相変わらず素晴らしく、60年も前、西台中学校の林間学校で見たときの風景と変わりません。いつ来ても感動の一言です。思い起こせば、その時の感動が忘れられず、高校では山岳部に席を置いたのでした。予定の時間を過ぎていることもあります、また、キスゲの花も殆ど終わり、ヤナギランも咲き始めという晩夏への移り変わりの時期で、花も期待できないので八島湿原には行かず、白樺湖までゆっくり景色を楽しんで走ることにしました。下山する大門街道は意外と走りごたえがあり、八ヶ岳パノラマラインは、嬬恋の万座ハイウェイのような丘陵の畑中の道で気持ちよく走れました。

予想通り、午後の高速道路は、熱風が束になって重たく体にぶつかってくるような感じがします、これでは甲府盆地は越えられないと思い、甲府南インターで下りて、精進湖ブルーラインから富士五湖を回って河口湖インターから帰えろうとコース変更。水辺の方が少しは涼しいだろうとの気持でした。精進湖ブルーラインは、途中のトンネルが涼しくて生き返る気持になりました。

富士五湖地方は、ちょっとだけ気温が低く感じられ、木陰に入れば高速道路上よりはるかに楽でした。コース変更は大正解でした。精進湖は静かで、西湖、河口湖は、多くの外国の方々が自転車で景色を楽しんでいました。かつては、西湖までインバウンドの波は來ていなかつてのに、時代ですかね～

帰りの高速は小仏トンネル手前から圏央道青梅まで大渋滞。ちょこっといけない走りをして、通過。帰宅は17時40分。ジャスト11時間。440キロを走り終え、シャワーに直行して麦茶を飲んで生き返りました。まあ、75歳、真夏の大冒険ってところでどうか・・・目標達成！！！

皆さんは、この夏、何をして過ごしますか？

うれしくも 分けこしものか 遥々に 松虫草の 咲きつづく山

明治38年9月 長塚 節

